

【第2分科会】

多様な主体による地域で取り組む「共助」について

San-En-Nanshin Area Relationship Vision Progressive Conference

1. 概略

多様な主体による地域で取り組む「共助」について

住	人
---	---

災害など非常時においては共助による支えあいが必要であり、能登半島地震や熊本地震においても、避難所の設営・運営、物資搬入・管理、復旧・復興まちづくりに地域コミュニティが大きな役割を果たしている。

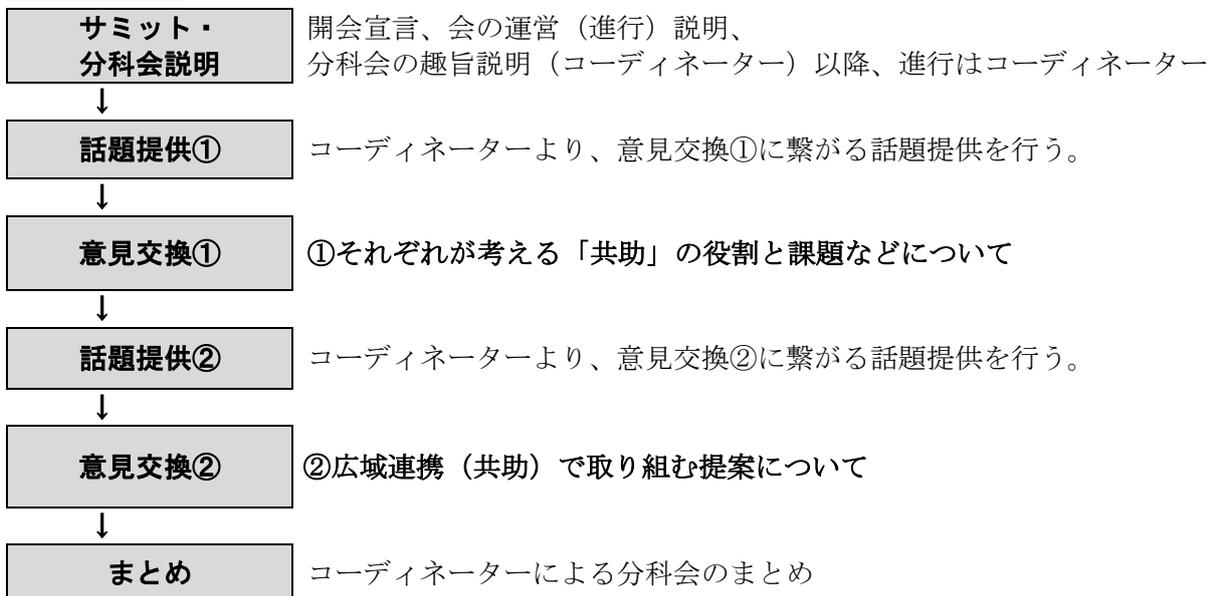
激甚化・頻発化する自然災害や新たな感染症などの新しいリスクに対しても、コミュニティの果たす役割は重要であると考えられるが、地域コミュニティは人口減少や少子高齢化、価値観の多様化など多くの課題を抱えている。

また、地域コミュニティの構成員である企業においては、社会貢献や社会的責任を果たすことが求められており、災害時においても同様である。

東日本大震災や能登半島地震など、大規模災害の影響が長期化している中、復興までの支援には近隣のみならず広域的な助け合いが必要であり、現に、平時に被災地と関係を持った団体や個人が、災害時の助け合いにつながった事例がみられた。三遠南信地域において災害時にこのような取組につながるために、常日頃から連携する地域同士が「顔の見える関係」づくりを継続的に進めることが重要である。そのためには、行政関係者のみならず、地域住民や企業、NPOなど幅広い関係者を巻き込み、多様な主体が重層的な連携体制を構築することが必要である。

そこで、地域コミュニティの強化に向けた広域的連携や、災害時において各々が行う「共助」、復旧・復興に向けた多様な主体の連携などについて意見交換を行い、持続可能な地域の構築を目指す。

2. 全体構成 (90分)



3. 出席者

- ・市町村 9団体（東三河1、遠州1、南信州7）
- ・経済団体 2団体（東三河1、遠州1）
- ・住民ネットワーク推薦者2名（東三河1、南信州1）

区分	地域	団体名	構成員代表者
行政	東三河	田原市	山下 政良
	遠州	浜松市	中野 祐介
	南信州	飯田市	佐藤 健
		駒ヶ根市	伊藤 祐三
		飯島町	唐澤 隆
		平谷村	西川 清海
		根羽村	大久保 憲一
		売木村	清水 秀樹
天龍村	永嶺 誠一		
経済	東三河	豊川商工会議所	小野 喜明
	遠州	天竜商工会	天野 彰久
住民	東三河	(有)志多ら代表取締役 東菌目花祭保存会	大脇 聡
	南信州	NPO 法人日本防災士会 長野県支部南信地区ブロック長	上野 真由
コーディネーター		日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 講師	宮國 康弘